

最新の調査から

みあらいざわいせき

身洗沢遺跡 ☆笛吹市八代町八代中央自動車道交差点東側 笛吹スマートインターチェンジ建設事業

身洗沢遺跡の特徴

弥生時代後期の溝や掘立柱建物跡などの遺構、土器や木製品などの遺物が多数確認されています。とくに溝からは大量の土器片が発見されており、上流から流れ込んできたものと考えられます。

土器

様々な種類の土器が発掘されており、甕かめや台付甕、壺などの生活に関わるものだけでなく、高坏などの祭祀に関わるものも出土しています。また、通常はお墓などで確認される大型の壺も出土しており、上流に住居跡やお墓が存在した可能性が窺えます。



高坏(弥生時代)



鍬(弥生時代)

木製品の出土

溝の中からは「クワ」と考えられる木製農具が出土しています。クワは刃が破損しており全体形状は不明ですが、柄を入れる穴が残存しています。壊れてしまい、使えなくなって廃棄したものなのか、一部が燃えて炭化しています。

今年度は3月まで基礎的整理作業を行う予定であり、今後、その成果を発信していきたいと思ひます。

やむらじょう

谷村城 ☆都留市谷村第一小学校東側 甲府地方家庭裁判所都留支部新庁舎建設事業

発掘調査の終了

平成27年7月2日まで、谷村城の発掘調査を実施しました。これまで、古代から近代にかけての生活面が何層も確認されています。現在、出土遺物の整理作業を行っており、遺跡の全体的な評価についてまとめているところです。



金属精錬遺構(江戸時代)

金属精錬

今回取り上げる1号石組と2号石組、さらにそれらをつなぐ30号溝状遺構は、江戸時代の金属精錬に関わる遺構と考えられます。その理由として、遺構内に炭化物粒子を伴っていたことや、遺構の底に粘土を貼っていること、金属製

品が出土していることなどが挙げられます。

谷村城の土地利用

また、同じく近世の生活面より、井戸が2基発見されましたが、これは県東部地域において初めて考古学的な井戸の調査事例となりました。こうした発見は、谷村陣屋のあった時代、あるいは陣屋ができる以前の土地利用について、絵図等では知り得ない情報を与えてくれました。



井戸(江戸時代)

おいしいせき

大石遺跡 ☆大月市大月10付近、JR中央線南側 大月バイパス改築事業

縄文時代・弥生時代

縄文時代早期末・前期・中期の土器をはじめ、石器（打製石斧等）が出土しています。打製石斧は、長さが約10～19cmで短冊形をしており、8本がまとまった状態で出土しました。弥生時代は、中期の土器が出土しています。



打製石斧(縄文時代)

古墳時代以降

土坑2基と焼土跡12基が確認され、須恵器すえきや土師器はじき、鉄製品てつせいしや（紡錘車等）が出土しています。土坑は、調査区の中央

埋蔵文化財活用事業 特集！発掘体験

調査によって発掘された埋蔵文化財は「地域の歴史を学ぶ」「地域の歴史づくりをおこなう」などの活動に活かされます。今回は、7月と8月におこなわれた身洗沢遺跡での発掘体験セミナーにスポットをあてて紹介します。発掘体験セミナーは、夏休みなどに発掘中の遺跡で、文字どおり”発掘”を体験してもらうものです。

柴田さんの発掘のワンポイント!!

今回の発掘に使ったもの

- ・移植ゴテ 土を掘るための必須アイテム。
- ・箕(み) 掘った土をこれで集めます。

柴田さんの一掃入魂

こんにちは！埋蔵文化財センターの柴田です。発掘の時、移植ゴテを立てて使うのはとてもNG。刃を寝かせて土を削るように使おう。

柴田主任文化財主事



まず、埋蔵文化財センターの柴田主任文化財主事から掘り方などの説明を受けます。



後は、遺跡をひたすら掘ります。



土器片を発見しました！

今回の体験セミナーで百数十点の土器片などが発掘されました。また、土器だけでなく当時のマツリに使用された齋串いぐしと思われる木の破片(未確定)も発見されました。発掘体験セミナーは、埋蔵文化財センターのHPなどで告知をしています。考古学上の大発見もありうる発掘体験セミナーに参加してみませんか。

7月～10月の活用事業実績

- ・出前支援事業/土器作り(土器成形・焼成)6校 ・職場体験6校・発掘体験セミナー/身洗沢遺跡 ・遺跡見学会/県庁構内、谷村城、身洗沢遺跡
- ・遺跡調査発表会 ・甲府城青空教室 ・甲府城青空研究室(3月まで継続開催) ・甲府城饗宴 ・甲府学問所徳典館(3月まで継続開催)
- ・講師派遣/ことぶき勸学院など

11月以降の活用事業実績

- ・県民の日イベント/銚子塚古墳でマツリ11月20日・ひらけ！玉手箱リターンズ11月23日
- ・シンポジウム「土器から探る縄文世界」11月22日～23日